

トピックコース(定員 50 名)

今後、労働人口の減少が予想されており、医療・介護業界もその影響を受けると予想されています。限られた人材で、より質の高いサービスと安全性を提供するためにもロボットの活用が必要となってきました。

本研修では、リハ・介護ロボットって？ロボットを導入したら何がかわるのか？導入するにはどうすればいいのか？導入した後、どう活用していけばいいのか？それらの疑問を解消し、今後自身の職場でどう活かせるか、その中で自身が果たす役割を考える機会とします。

【会 場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和 3 年 11 月 22 日 (月) 18:00~20:00 (受付 17:30~)	『リハビリテーション・介護ロボット』	
	「ロボットの活用と導入前後について」	株式会社 シーエフロボタス NPO ロボットビジネス支援機構 (RobiZy) アドバイザー (理学療法士) 逢坂 大輔 氏
	「県内のロボット普及、介護ロボット導入支援制度について」	県関係機関より報告予定
	「県内のロボット活用事例紹介」	・ 済生会守山市民病院 ・ そのほかロボットを活用している事業所より報告予定

対象者 : 医療、保健、介護、福祉、行政などに携わる方、リハ・介護ロボットに関心のある方

締め切り : 令和 3 年 11 月 12 日 (金) まで

申し込み : 下記の受付フォーム (URL、QR コード) よりお願いします。

申し込みをされた方に、Web 会議 (zoom) のミーティング ID・パスワード等をメールでお伝えします。

URL : <https://forms.gle/cNkBUmD6XvDL4phJ6>

QR コード



※日本作業療法士協会生涯教育制度 (1 ポイント)

担当 : 奥村